



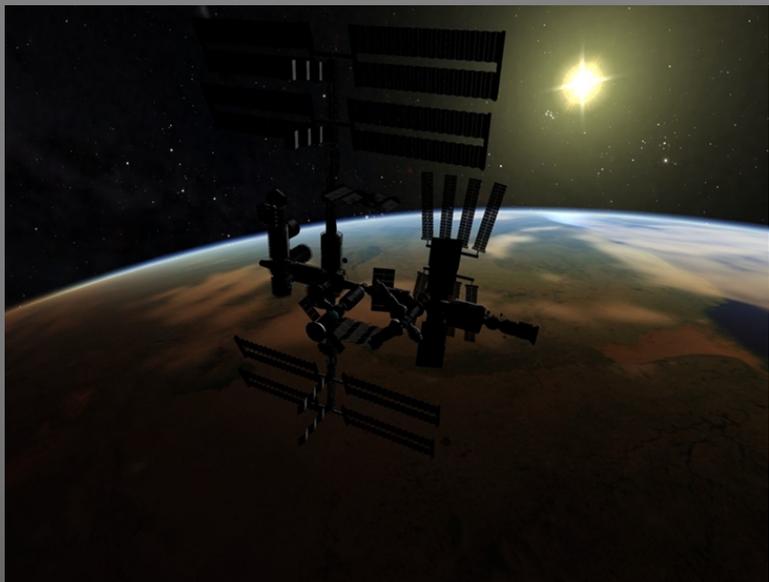
# デジタルドーム環境の活用ツール

Orihalcon Tech.  
高幣 俊之

# (立体) デジタルドームコンテンツの制作

- 全天周映像 (プリレンダームービー)  
→ ドーム映像制作ツールを用意
- マニュアル投影 (リアルタイムコンテンツ)  
→ Mitaka Pro  
Uniview  
Quadratura (全天パワーポイント)  
各種インタラクティブシミュレーション

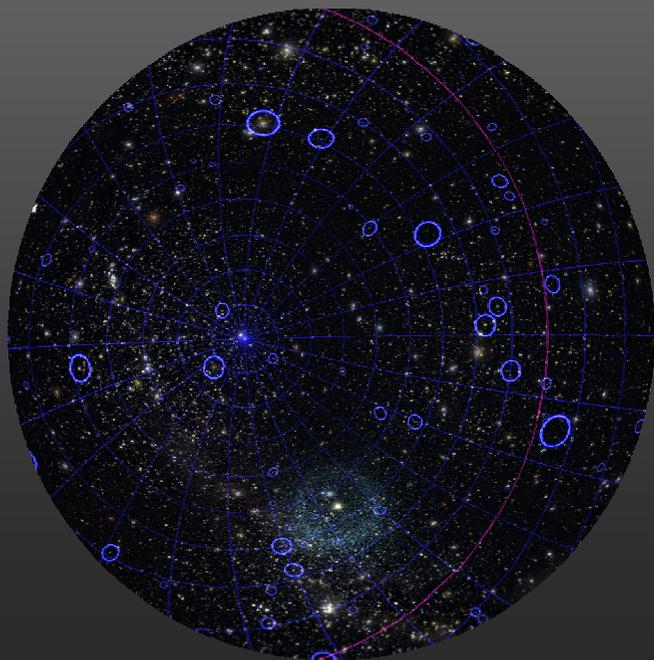
# ドーム映像の制作ワークフロー



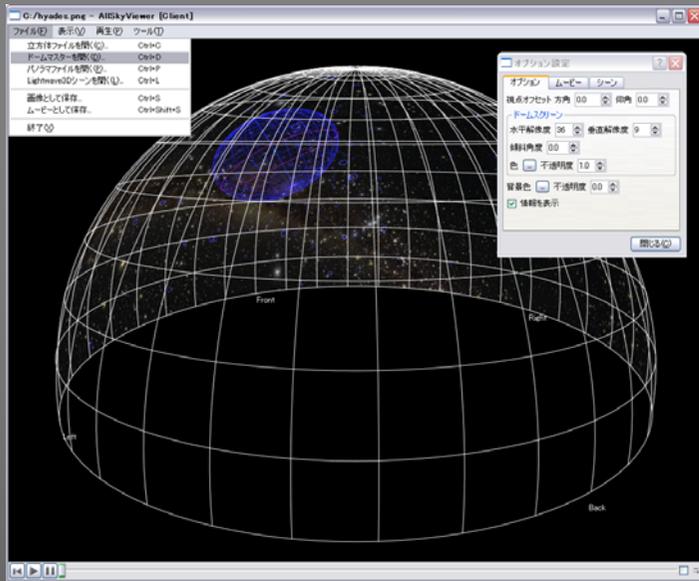
Univiewなどインタラクティブなソフトでドーム内にて映像を投影しながらアイデアを練る(カメラアングルなど自在に試せるので非常に便利！)



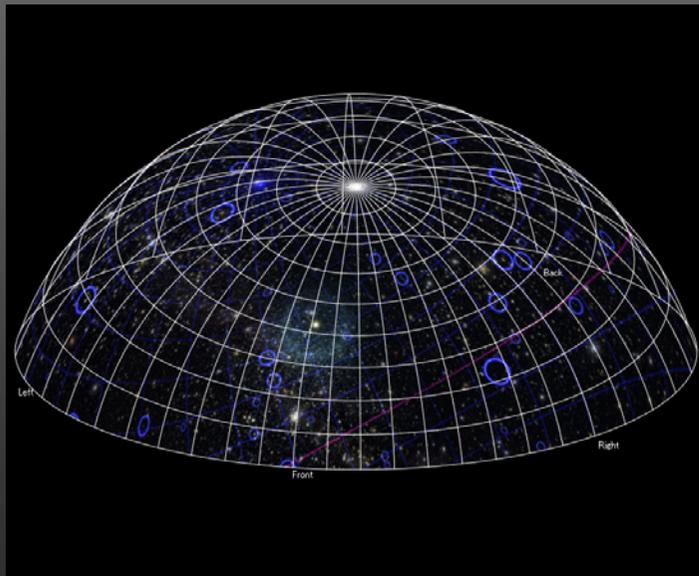
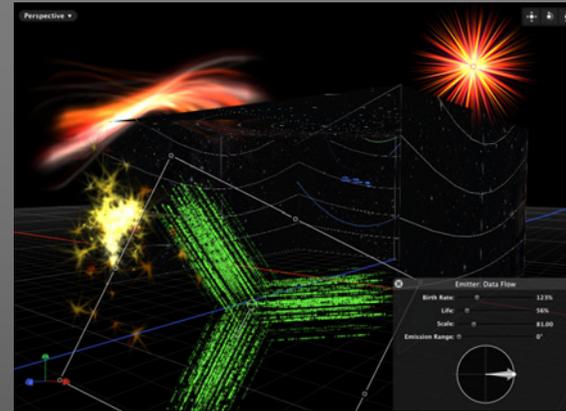
ゲーム感覚？でベストなカメラパスを記録して、そのままドームマスターとして画像やムービーに書き出し(マウス、Joystick、Wiiリモコンなど利用)



# ドーム映像の制作ワークフロー（続き）



ドームプレビューツールで映像のチェック  
(ドームが無くて確認作業が可能！)

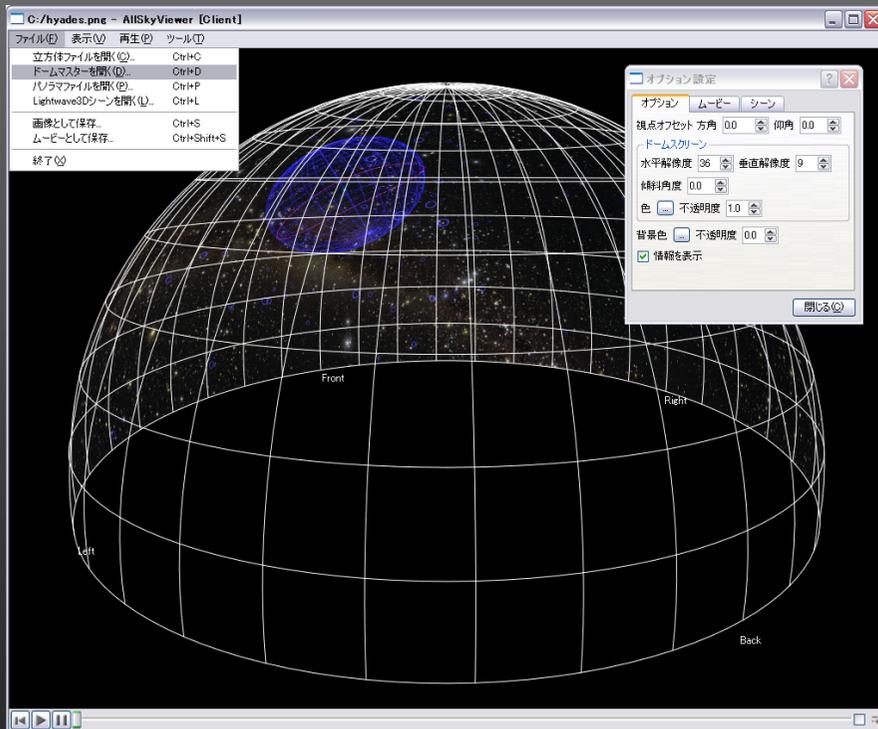


プレビューツールから映像変換し、  
市販のエフェクトツールや全天  
パワーポイントで映像を加工

BGMやナレーションを付けて完成

# ドーム映像制作ツール

- 操作性の良いデジタルプラネタリウムソフトやスペースエンジンを活用することは極めて有効
- ドームマスターでの書き出しや、映像編集ツールとの連係が考慮されていることが大事



- ドームプレビューツール  
– 全天画像や全天ムービーのドーム投影をシミュレート
- 市販の映像編集ツールでの加工のために、映像を変換し書き出し・読み込みが可能

# Quadratura (全天パワーポイント)

- 画像やムービー、文章、全天周映像などをドーム空間に自在に配置して演出
- マニュアル投影(ライブパフォーマンス)、映像制作のどちらにも最適

これこそが望まれていた、究極のツール!!



北極星

# Mitaka Pro による ドームプレゼンテーション

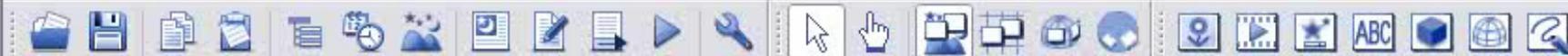
2008年 05月 22日 20:00:00

北極星

1 α UMi

種類：恒星

HIP番号：11767



北極星

# Mitaka Pro によるプレゼンテーションと リアルタイム投影補正機能

2008年 05月 22日 20:00:00

# Quadratura (全天パワーポイント)

- 平面でもドームでも立体ドームでも活用が可能
- 画像、ムービー、文字列、3Dモデル、FITS画像、全天周映像、特殊効果など様々な素材に対応
- 拡張性の高い設計により、今後も続々機能強化：  
ライブカメラ、ウェブブラウザ、パワーポイント表示...
- 板書機能やポインタ、切替効果などの支援機能
- 黒背景で光学プラネタリウムに重ねて投影  
→ 従来のプラネタリウムを簡単に機能強化

MitakaやUniviewに組み込んで活用

→ デジタルプラネタリウムシステムの完成形

# まとめ

- ドーム映像制作のワークフローとツールの紹介
- 全天パワーポイントによるドーム空間の活用
- 本当に使いやすいデジタルドームを目指しましょう
- 詳しくは、直接お尋ねいただくか、9月29日のデジタルプラネタリウムワークショップ@科学技術館で。
- <http://orihalcon.jp/>